指定管理業務総括評価票一覧《平成30年度》

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																											3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1 総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2 総括≫	経理事務	経費執行	経費縮減	収支状況	≪3 総括≫		
			事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	外部委託事業者に対して協定書等を遵守させている。	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	個人情報保護に関する規程が整備されている。	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	情報公開に関する規程が整備されている。	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	業務日誌等を適切に整備、保管している。	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	緊急時の連絡体制が確保されている。	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	業務の実施体制に関する評価	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	前回の評価を受けて、適切な改善が図られたか。	業務の内容・水準に関する評価	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	収支予算の範囲内で適正に予算を執行している。	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	経費の収支等に関する評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」の総合評価	
—	—	—																																																			
1	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 高齢者在宅サービスセンター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	法令、条例、協定書等に基づき適切に実施した。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	問題なく実施した。	B	C	B	C	C	C	平成31年3月末の事業廃止に向け、利用者の移行、職員の異動等をスムーズに行う事ができた。収支の赤字部分については、資金の繰入により対応した。
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	特に問題はなく、良好である。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	事業廃止に向けた利用者の移行に伴い赤字となっているが、その他は適正に執行されている。	B	C	B	C	C	C	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。 収支等については、事業廃止に向けた利用者の移行に伴い赤字となっているが、他に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。 また、年度末をもって事業廃止となることが決定した後も利用者の移転先探しをフォローする等の積極的な配慮も見られた。

評価区分:
A＝優良
B＝良好
C＝課題含・多
D＝要改善

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
2	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 地域包括支援センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定に基づき、各種事業を実施した。今後も法令・条例を遵守し、適切に事業運営を行い、更なる地域福祉の発展に努めていく。 また、地域包括ケアシステムの構築のため、今まで以上に行政や関係機関と連携し、市民サービスの向上に努める。
			災害事業継続マニュアルを作成し、定期的に確認している。また、防災対策委員会を定期開催し、災害に備えた事業運営等の検討をしている。																			介護予防や権利擁護に関する講座講習会を数多く開催した。介護者交流会や学習会等の自主事業を行うとともに、職員のスキルアップのため、数多くの研修会に参加した。広報活動として、チラシの作成、SNSの利用等多くの市民に事業の周知を行った。																				適切に執行した。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については協定書等の条件を十分に満たすものであり、運営上特段の問題はない。なお、配置されている第1層生活支援コーディネーターが行う生活支援体制整備は全国的に先駆的な取組であることから、所管としても大変評価している。 また、財務状況についても特に指摘事項はなく、適正に行っていると考える。
			特に問題はなく、良好に実施体制を構築している。																			特に問題はなく、良好に業務を遂行している。なお、配置されている第1層生活支援コーディネーターの活躍は特段の評価に値する。																				適正な財務状況である。							
3	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 身体障害者福祉センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	利用者への給食提供において充実を図り、利用者、保護者より高評価を得たとともに、医療的ケアが必要な利用者への給食提供も、同内容の給食を形態食に加工し、提供することができた。また、ショートステイ事業では、市と協議して日々定員を2名から1名とし、この残りの1名枠を緊急時対応とすることにより、登録者より評価を得た。 稼働率については、例年と比べると低い水準となった。理由としては退所した方や健康上の理由で通所されない方が増えたためであった。今後の課題としては、利用者の健康管理について、より支援を向上させることが必要と考える。
			スキルアップ研修への職員派遣が計画どおり進まなかった。																			利用者の出席状況に大きな差が生じたため、行事の提供が円滑にできなかった。																				適正に執行した。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	利用者アンケート調査を実施し現状把握に努めていること等については評価することができるが、業務日誌等の内容を改善し、施設管理状況や利用者からの要望等を記載できるようにすることにより、より一層適切な管理運営が期待できると考える。 総合的に、協定書、仕様書に沿った管理運営を適切に実施していると評価する。
			業務日誌等の内容改善を要望した。その他については協定書、仕様書等を遵守しおおむね適正に実施している。																			協定書、仕様書等を遵守しおおむね適正に実施している。																				協定書、仕様書等を遵守しおおむね適正に実施している。							

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
4	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 障害者地域自立生活支援センター 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	法令・協定書に従い、事業を遂行した。 自立支援協議会定例会への出席、その他部会の開催等を実施した。 障害福祉課と合同で、「高次脳機能障害を持つ家族の会」を立ち上げ、平成30年度から毎月定期的に12回開催した。
			法令・条例を遵守し、事業を実施した。 相談支援システムを活用し、事業の効率化・充実を図った。																			事業計画書に即し、適切に運営した。 なお、講習会等を3回実施した。																				問題なく事業計画に即し、執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 （障害福祉課）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	総合的には、協定書に基づき適切な管理・運営を実施しており、利用者等への対応も適切であると評価する。 建物全体の施設管理自体は市が担っているが、些細な修繕等があった場合も市へ月報等で報告し業務日誌に記録を残す対応を図る必要がある。また、利用者等からの苦情がない場合も、その旨市へ月報等で報告する必要がある。これらを改善し、更なる水準の向上を期待する。
			点検、修繕等について、市に報告し市が対応を図った場合等の履歴も適切に業務日誌等に記録し保管を行う必要がある。																			おおむね適切な内容・水準で運営できていたと評価する。																		おおむね適正に実施している。						
5	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 子ども家庭支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人高原福祉会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	ー	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	相談業務に関して、児童相談所、学校を含めて関係機関と良好な関係を維持して一定の評価を受けており、調整機関として機能していると考えている。指定管理者として、民間の意識を持って公的施設の運営をすることでサービス向上に寄与している。
			人員体制については資格取得の目的で1名が退職となった。																			利用者アンケートで職員の対応について高評価を受けている。 関係機関と良好な関係を維持しており高評価を受けている。																		経費削減の努力はしている。						
	【所管部課】 健康福祉部子育て支援課	所管評価 （子育て支援課）	B	B	B	ー	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容等について、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。
			年度途中で人員減となったが、業務は問題なく遂行された。																			適切に管理できており、特に問題ない。																		適正である。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																				3 収支等					4	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
6	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 訪問看護ステーション 【指定管理者】 一般社団法人武蔵村山市医師会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	常に丁寧なケアを心がけ、関係機関とICTも活用し密な連携を図っている。新規利用者も毎月申し込みがあり、できるだけ早い段階で訪問調整を行っている。定期的な勉強会や研修会への参加、接遇について見直すために、利用者アンケートを実施し業務改善を図っている。 終末期ケアの充実を図るため、多職種連携研修会などを通して自己の学びを深めている。 居宅介護事業も安定した利用者数となり、困難事例や医療ニードの高いケースが多くなっている。今後は、各マニュアルについて基本に戻り見直しを図っていくことが課題となっている。
			常勤換算5.0人態勢であり、個別に研修計画書を作成し実施した。個人情報は鍵管理の書庫に保管を行い、また、事故発生時のマニュアルを一部改訂した。協定書に従い、各報告書は市へ提出した。																			利用者対応について、アンケートを実施し、高評価をいただいた。事務所内でも接遇について研修を行った。 自事業所以外の館内利用者へも、窓口で適切に対応した。																				定期的に担当会計士、担当理事に収支状況を確認してもらい、問題なく実施されている。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり運営上問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。
			特に問題はなく、良好である。																			適切に管理等ができており、特に問題はない。																				適正である。						
7	【施設名】 武蔵村山市民総合センター ボランティア・市民活動センター 【指定管理者】 特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場	自己評価 （指定管理者）	B	A	B	ー	ー	B	B	B	B	B	A	A	A	A	B	B	ー	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	ー	B	B	A	A	A	A	ー	A	B	B	A	B	B	B	予算的な抑制もあり新規の事業こそなかったが、これまでの4年間で培った職員のマンパワーを活用し、継続している様々な講座・イベントの開催した。そしてなにより利用者との信頼関係を磨き上げた1年間であった。既に述べた点ではあるが、最大の課題であった累積赤字を解消することができた。次期指定管理者となり、新年度は、さらに積極的に新しい事業を展開していきたいと考える。
			スタッフ全員のボランティアコーディネート力3級検定取得、センター長の同2級取得など、研鑽を進めた。																			利用者アンケートを行い、応対や接遇などについて「明るい」、「親切である」などのご意見をいただいた。																				累積赤字を解消した。						
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 （協働推進課）	B	A	B	ー	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	A	ー	B	B	B	B	B	B	B	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。自主事業については、ニーズ等をよく研究した上で事業を企画し、ボランティアや市民活動団体の育成・活性化に努めていた。また、Wi-Fi環境の整備や夜間利用の窓口体制の改善によりサービス向上を図っていた。決算については、おおむね適正であり、限られた財政状況の中、セルフコピー機の設置による財源確保や支出削減により、課題となっていた累積赤字を解消することができた。 5年間ボランティア活動等の総合拠点として、各種事業を行ってきたことで、ボランティアや市民活動団体の支援や育成に成果を出してきた。次期指定管理者としても、これまで培ってきた実績をもとに、より水準の高い事業運営に努めていただきたい。
			必要とされる資格をスタッフが取得するなど職員の能力向上に努めている。また、夜間窓口対応のため、臨時職員を確保するなど、利用者の視点に立った人員体制を整えたことも評価できる。																			ボランティアや市民活動団体を育成するため、ニーズに応じた各種事業を企画している。3回目となる元気フェスタは、市民活動団体による企画・発表の場として定着し、団体の活性化や市民へのアピールにつながる事業となっている。																				経費削減やコピー機設置による収入源の確保等により、短期借入金も返済された。おおむね適正な経理事務である。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
8	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 高齢者在宅サービスセンター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	介護技術や専門知識を深める為に内部研修・外部研修に参加し、そこで学んだ事を職員間で共有・実践し、サービスの向上に繋げた。また中学生職業体験の受け入れや、ボランティア活動の受け入れも行い、地域に根ざした事業所として活動できた。
			新入職員にはOJTの手法を活用し、職員の定着を図った。																			備品等の故障や劣化の早期発見に努めて適切に修繕することができた。																					予算を適正に執行した。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。
			特に問題はなく良好である。																			管理は適正に行われており、特に問題はない。																					適正である。							
9	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	問題が困難化されてから発見されるケースが多いため、早期発見・早期介入を目指した対応に取り組んだ。相談していただきやすいよう包括支援センターの周知を行い、また民生委員・自治会等へ出向き、心配な高齢者について積極的に情報収集に努めた。把握した高齢者は継続的に対応していけるよう、包括内で役割分担を行い、問題の解決につなげた。
			職員の定着が難しく、さらに福祉業界における人材不足から職員を必要人数確保することが大変苦労した。																			相談して良かったと思っていただけるよう、全ての相談を真摯に受け止め対応した。																					予算を適正に執行している。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 （高齢福祉課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については協定書等の条件を十分に満たすものであり、運営上特段の問題はない。なお、当地域包括支援センターが担当する地区の高齢化率は著しく高く、またそれ以上に困難事例も多い。その中であっても適切に業務を遂行しており、所管としては高く評価している。
			特に問題はなく、良好に実施体制を構築している。																			特に問題はなく、良好に業務を遂行している。																					適正な財務状況である。							

No.		区分	1 実施体制																		2 内容・水準																						3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
10	【施設名】 武蔵村山市立のぞみ福祉園 【指定管理者】 武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	福祉サービス第三者評価を受審し、改めて運営状況を確認した。 協定書・仕様書を遵守するとともに、利用者及び市民に対する福祉サービスの向上を意識しながら日々の業務に取り組んだ。 目標平均工賃1万円を目指し、達成した。自主生産品作業では新作モノレールクッキーの販売を開始し、また様々な祭りにも積極的に出店した。 施設の経年劣化に伴い、漏電対応を適宜行った。利用者の環境整備の観点より1階部分のカーテンの入替、利用者更衣室の畳入替も行った。 さらに、2グループに分かれて宿泊実習を行った。
			適切な運営体制を整え、事業を実施した。																			事業計画に基づき、福祉サービスの向上に努めた。																				法人で毎月会計検査を実施し、適切な処理に努めている。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、利用者にも配慮された管理であった。 日持ちするクッキーで新商品の企画を継続しているなど、利用者の工賃アップに熱心に取り組んでいる。また、前回の評価で指摘した作業日誌及び支援日誌の改善について新たに「支援日誌」として1冊にまとめ、利用者への支援、職員の勤務状況、施設の開閉館時間、修理及び補修、利用者からの苦情の有無等をまとめて一目で理解できるように様式が改められていた。
			関係法令を遵守し、適正な体制を整えている。																			事業計画に基づきおおむね適正に運営されている。																				適正な会計処理が行われている。						
11	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター （緑が丘コミュニティセンター・男女共同参画センター・第一老人福祉館） 【指定管理者】 ダイバーシティコミュ・東建社グループ	自己評価 (指定管理者)	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	—	B	B	C	B	B	B	B	B	初めての指定管理事業に携わってから5年間、延べ50万人以上の方にご利用いただけ、施設の認知度、また様々な切り口から男女共同参画が市民の身近な課題であるということを啓発周知できたものと考える。事業へのウエイトが高くなるとその分人件費、管理費などの経費も上がってしまう、というのがジレンマではあるが、次期以降もコスト意識を持って創意工夫していきたい。
			最終年度となる今年度は、これまでの4年間の総まとめを踏まえ、かつグローバルな視点からも男女共同参画を啓蒙した。 次期のシーズプレイスでは、この5年で培ったノウハウや市民からの信頼をさらに深め、新たな資源を活用して事業を行っていく。 また、今期指定管理事業での新たな取り組みである、近隣自治会との防災訓練などの地域との連携も、今後更に深めていく。																			施設や備品も一部老朽化してきており、都度所管課と相談し、改善に努めた。 今後ますます不具合が増えてくることが予想されるが、メンテナンスを行い、職員、利用者ともに施設を大切に利用していくよう努力していく。																				最低賃金アップや、キャリアアップのために人件費が5年前当初予算から上がってしまい、5年間では100万円超の赤字となってしまった。						
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 (協働推進課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	C	B	B	B	B	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。自主事業については、男女共同参画を取り巻く現状を見据えた各種事業を実施しており、特にYOU・Iフォーラムは著名人を講師に招き盛況であった。また、研修にスタッフを積極的に参加させることで、人材育成に努めていることが伺えた。決算については、人件費アップにより赤字決算となっているが、他の支出についてはおおむね適正であった。 5年間男女共同参画社会推進の拠点として、各種事業を行ってきたことで、市民の意識啓発に成果を出してきた。次期指定管理者として、新たに法人の形態を変えて受託することになったが、これまで培ってきた実績をもとに、より水準の高い事業運営に努めていただきたい。
			5年目となり、各種書類、人員体制も整ってきており、おおむね適正な実施体制であった。																			施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきたが、その都度迅速な対応をしており、おおむね適正な施設管理であった。																				人件費の支出が増えてしまったが、他はよく精査したうえでの支出となっており、おおむね適正であった。						

No.		区分	1 実施体制																		2 内容・水準																								3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
12	【施設名】 武蔵村山市立温泉施設 【指定管理者】 株式会社オーエンス	自己評価 （指定管理者）	B	A	B	A	A	B	A	B	A	B	B	B	A	A	B	A	B	B	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	A	B	A	C	ー	B	A	B	B	C	C	C	休館日ごとに担当課と調整会議を行うことで、前月の運営報告と翌月のイベント予定などを共有し、運営にいかすことができた。 実質1年目の平成30年度は、リニューアルオープン後の入場システムの大きな変更により、利用者だけでなく、施設側のオペレーションにも戸惑いがあり、利用者に不便をかけた事例もあったが、次第に業務にも慣れ、安心・安全な施設を提供できるようになった。アンケートの回答にもあるよう、利用者の満足度は向上していると自負している。
			各部署とも適正な人員体制で業務を実施した。 また、マルチジョブとして、時間帯により人員を厚く設けたい部署に別の部署の人員を一時的に配置した。 救急搬送等の緊急対応についても、随時担当課に報告し、情報の共有が図れた。																		開館日数、開館時間を遵守し運営にあたり、利用者対応・施設維持管理に関して高い水準を保てた。 意見箱を設置し利用者の声に耳を傾け、サービス水準を向上させた。 漏水箇所の対応に追われたことにより、資源環境配慮が欠けた一年になってしまった。 利用者数が見込みを大きく下回ったことも次年度以降の大きな課題の一つである。																		入金・支払いなどの金銭管理は適切に行えた。 収支状況は予算と比べ大きく下回り、利用者数の拡大同様、赤字改善は 次年度以降の課題となっている。						
	【所管部課】 協働推進部観光課	所管評価 （観光課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	C	ー	B	B	B	B	C	C	C	前年度に大規模修繕を実施したが、経年劣化の激しい施設の維持管理を行いつつ営業を行っており、収入が大きく支出を下回ってしまった。来場者のアンケート調査に基づき要望等で速やかに改善できる部分については改善を行う等、来場者数の増加に向けて取り組んでいた。今後は、地域の各機関・団体とも調整しながら積極的に自主事業を展開する等、来場者の増加及び収支状況の改善が図られることを期待する。
			施設を清潔に維持管理し、救急搬送等の情報の共有も適切に行われていた。																		土・日・祝日の利用時間制限の撤廃、要望のあったベビーバス・ベビーベッドの設置等、利用者の利便性の向上を図った。																		今後も経費を縮減し、収入状況改善に努力いただきたい。						
13	【施設名】 武蔵村山市総合体育館及び体育施設（野山北公園プール外7施設） 【指定管理者】 株式会社フクシ・エンタープライズ	自己評価 （指定管理者）	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	ー	A	A	A	A	A	A	A	今年度から5年間の指定管理期間がスタートした。前年度までの経験をいかすとともに、利用者からの意見を取り入れてトレーニングマシン、喫煙ブース、飲食物販機、節電対策空調制御システムなどを新規導入した。これらは、指定管理期間内のリース契約の為、収支状況を見ると初年度は収支が減収となってしまうが、今後の節電効果なども踏まえると5年の管理期間内に回復する想定である。
			今年度から5年間の指定管理期間が始まった。管理者の入れ替わりが無かったため前年度までの経験をいかし、かつ利用者の意見を取り入れた新たな試みにも挑戦しながら無事に初年度を終了することができた。																		法令・条例を遵守するだけではなく、サービスの向上や利用者数の増加を常に意識した運営を心掛けている。																		自主事業内容を変更した1年目の為、収入は想定を下回ったが、下半期からは回復傾向となった。						
	【所管部課】 教育部スポーツ振興課	所管評価 （スポーツ振興課）	A	B	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A	A	A	B	B	A	B	A	B	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	ー	A	B	B	B	B	B	B	利用者からの要望を汲み取り、自主事業の新規開設・企画・運営、施設の管理等に取り組んだ結果として、自主事業参加者をはじめとして利用者数が増加していることからもおおむね指定管理者選定時の募集要項及び選定団体の提案書に沿った運営ができていると評価できる。今後もアンケート等を実施し、施設の管理運営及び事業の更なる充実化を図り、総合体育館を中心に市のスポーツ振興に寄与していただきたい。
			個人情報保護体制や緊急時の連絡体制が適切に確保されているところが評価できる。																		市民ニーズに対応した事業の実施、また、省エネ対策も積極的に行っているところが評価できる。																		利用者の定着、効果的な事業周知を期待したい。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	総合評価	評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
14	【施設名】 武蔵村山市民会館 【指定管理者】 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	自己評価 (指定管理者)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A	A	A	A	A	A	A	平成30年度は、公共施設予約システム導入3年目となり、初めて利用者登録の更新時期を迎えた。また、新規登録者を含め、不慣れな利用者には、わかりやすい説明を心がけた。さらに、文化活動面では、鑑賞事業に加えアウトリーチやワークショップ等市民参加型活動の充実を図り、文化活動への参加を促進した。
			窓口業務の体制は、夜間の受付・保安業務の強化を図るため1名増員した。舞台、設備、清掃は事業計画書に即した体制で、法令・条例・協定書に基づき適切な運営をした。																			協定書、仕様書に基づき適切に運営するとともに、事業についても計画書に基づき適切に実施した。さらに、利用者の利便性と省エネを考慮して運営し、記録等の管理も適切に行った。																									利用促進と経費節減に努め、適正に執行することができた。						
	【所管部課】 教育部文化振興課	所管評価 (文化振興課)	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	—	B	B	B	B	A	B	B	平成30年度は当該事業者の指定管理業務3期目初年度であり、これまで2期の経験を踏まえた適切な施設運営を行っていると評価できる。また、小学校でのヤングアメリカンズアウトリーチ開催を企画運営するなど、地域での文化芸術振興の推進にも取り組んでいる。 今後も、事業費低減だけの事業選択を行うことのないよう受託事業等の実施を望むとともに、より一層の利用料収入と事業収入の増加に向けた取り組みを期待する。
			一部の業務において外部委託事業者の行為による苦情があったが、業務契約書を見直すなど適切に対処しており、実施体制としてはおおむね良好である。																			利用状況について施設利用者数など全項目が前年度に比べ減少している点が気になるが、全体として協定等に基づき適切な事業運営と維持管理が行われていた。																									収支については、利用料収入が予算を上回っており、施設の利用促進に関する取組が結実したものと評価できる。						
15	【施設名】 つみき保育園 【指定管理者】 社会福祉法人やまぶき会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	指定管理7年目となり、前年度に引き続き安定した保育運営を行うことができた。保育環境も職員全員が研修を積むことにより、園児、保護者にも過ごしやすい環境を作ることができた。施設の老朽化に伴い、修繕箇所が多くなってきたが、安全に配慮したい。
			指定管理7年目であり、安定的な運営ができた。																			施設、備品等の老朽化が進み、衛生面、安全面の確保に課題がある。																									おおむね良好である。						
	【所管部課】 健康福祉部子ども育成課	所管評価 (子ども育成課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	保育内容が更に充実するよう職員研修を行い、保育環境を整備し園の特色を出した保育となるよう取り組んでいる。また、ちいろば教室との交流学習を積極的に行うなど、幅広い保育活動を実施している。指定管理7年目となり、これまでの積み重ねが保護者等からの信頼を得ている。今後、施設の老朽化に伴う修繕等が課題である。
			おおむね良好である。																			事業計画に即し、適切に運営されている。施設の修繕等については、安全に配慮した運営ができるよう対応を考える必要がある。																									おおむね良好である。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性※1	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫	合評価	評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
16	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 精神障害者地域活動支援センター 【指定管理者】 医療法人社団　円祐会	自己評価 （指定管理者）	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定に基づき事業を実施した。指定管理外の事業（計画相談等）での関わりを契機に、地域生活支援・相談業務の利用に繋がった方や、関係機関との連携が更に増えたことなど、限られた人材の中で、事業所の機能をいかした運営ができた。 今後も地域の実情に応じたサービスの提供に取り組んでいく。また関係機関と連携を図りながら、地域の支援体制づくりの構築に取り組んでいくことが課題である。
			今年度も必要な資格、経験を有する人員については、基準より多く配置し、専門性の高いサービスの提供に努めた。																			今年度も地域生活支援・相談業務を土曜・日曜も開館し対応した。 事業運営については、今年度も市内家族会再開に向け、家族懇談会を年6回開催した。																					適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 （障害福祉課）	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	協定書等に基づき、おおむね良好な業務が実施された。よって、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条の規定に基づく市内在住の精神障害者に対する、社会復帰、自立、社会参加等の促進及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第1項に規定する地域生活支援事業として、精神障害者又はその介護を行う者に対する便宜の供与及び援助が実施され、精神障害者の福祉の増進を図ることが出来たものと評価する。
			専門性の高い業務において体制が整えられており、おおむね良好である。																			内容、水準ともにおおむね良好であり、新たなサービスについても前向きに取り組んでいる。																					おおむね適切に行った。						